

令和5年8月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和5年8月25日(金)午後2時00分開会
午後3時37分閉会
三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

日程第1 開会
日程第2 前回会議録の報告、承認
日程第3 会議録署名委員指名
日程第4 会期の決定
日程第5 教育長の報告
日程第6 議事 議案第25号から議案第28号
日程第7 報告事項 報告第23号から報告第24号
日程第8 その他

○会議に出席した委員(5名)

1番	鹿嶽昌功	2番	大野裕己
3番	中上之仁	4番	中野文雄
5番	三木尚美		

○説明のため出席した者(12名)

学校教育部長	浅野晋司	学校教育部参事	外岡明文
教育総務課長	井上尚博	教育総務課担当課長	久保修一
学校再編課長	上野樹	学校教育課長	田中仁朗
教育支援課長	市原敦	教育研修所長	小山恵介
学校給食課長	廣瀬敏彦	文化スポーツ課長	下山一彦
健やか育成課長	神影保緒		

三田市立特別支援学校高等部教科用図書選定委員会
委員長 山口貴久

○校長会代表(2名)

中学校校長会代表(代理)	鯉ノ内 克枝
小学校校長会代表	福本 八重歌

○会議に関係した事務局員(2名)

教育総務課	靱井清陽
	清家梨奈子

○会議録署名委員

教 育 長 鹿 嶽 昌 功

教 育 委 員 中 上 之 仁

日程第1 開 会

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ただいまから令和5年8月第296回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは前回定例会会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

(令和5年7月26日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

事務局から説明がありました会議録について、何かご質問はございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、会議録署名委員指名に移ります。
会議録署名委員は、3番 中上之仁 委員にお願いします。

日程第4 会 期 の 決 定

○教育長
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、令和5年8月25日金曜日14時00分開会
といたします。

日程第5 教 育 長 の 報 告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

8月29日火曜日から2学期が始まります。今年の夏は酷暑と言われるように暑い夏でしたが、まだまだ残暑も厳しく、先日は、北海道伊達市で熱中症による悲しい事態も発生しています。2学期には体育大会や運動会など学校行事もあります。児童生徒の安全対策に細心の注意を払っていかねばならないと思っています。

それでは、前回7月26日以降の活動について報告いたします。今回は8点です。

1) 地域社会共生フェスティバル(7/30)

地域社会共生フェスティバルは、特別な支援が必要な子どもたちが、学校教育を終えた後の自立した生活に向けた進路等の情報について、各事業者の皆さんからご紹介いただくものです。この3年間は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のために、会場開催できませんでしたが、7月30日は4年ぶりに総合福祉保健センターで開催することができました。就労支援や生活介護事業所など、12の事業者の皆さんにご協力いただき、ひまわり特別支援学校や特別支援学級の児童生徒の保護者の皆さん、進路指導を行う教職員も熱心に話を聞いていました。子どもたちのこれからの生活を築く、貴重な情報共有の場であったと思います。

2) 生涯学習審議会委員との意見交換会(8/3)

8月3日に、教育委員の皆さんにも参加いただき、生涯学習審議会委員の皆さんとの意見交換会を開催しました。今回は、「地域とともにある学校づくり～法に基づくコミュニティ・スクールについて～」というテーマで、学校と地域との新たな連携の仕組みである学校運営協議会と、地域学校協働活動等について意見交換を行いました。様々な面から学校に支援いただいている学校支援ボランティアの皆さんの活動や、放課後子ども教室、こうみん未来塾等の取組、また、ヤングケアラーへの支援といったこともお話できました。今後

もお互いが様々な面で連携していくことの重要性を確認することができました。

3) 丹波市立中央小学校への視察(8/3)

8月3日の午後、令和2年度から小学校での複数学年複数担任制に取り組んでおられる丹波市立中央小学校に視察に行きました。現在は5、6年生3クラスを4人が交代で学級担任をされています。また、その4人が5、6年生の複数教科を教える教科担任として授業されており、指導の統一と、複数の目で日々子どもたちを見ながら、複数での生徒指導体制を確立されていました。黒田学校長をはじめ、学校・教育委員会の担当の皆さんにはお世話になりました。良いところ、感心するところも多々あり、また課題もあることを聞かせていただきました。これからの小学校の学校経営における検討すべき取組として大いに参考となりました。

4) 阪神7市1町教育長協議会(8/4)

8月4日、川西市で阪神7市1町教育長協議会がありました。議事は1点、「教員不足の解消に向けた取組について」でした。各市町とも、当初から、また年度途中からの休職等で担任が付けられないなどの問題が発生しており、その教員募集等の取組や、抜本的な教員不足に対する対応等について協議を行いました。不足教員の募集は、ホームページやハローワーク、インターネットの募集など、どこの市町も同様の取組です。臨時講師を含む教員全体の十分な人数が確保されていない中で、臨時的に教員を見つけるのは困難であり、お互いに取り合いになるといった状況です。国・県レベルの対策が急務といえます。今回協議した内容を取りまとめ、県教育委員会への要望等について、検討していきたいと思っています。

5) さんだサイエンスフェスティバル、三田まつり(8/5)

8月5日、午前11時半から、まちづくり協働センターにて

令和5年度さんだサイエンスフェスティバルが開催されました。今年から教育委員会との共催ではなく、こうみん未来塾の全市版として実施されました。ブースも拡大され、多くの子どもたちが積極的に体験していました。

午後3時から4年ぶりに郷の音ホールの駐車場で、三田まつりが開催されました。夜の花火の打ち上げ場所は城山公園に移りましたが、市民のパフォーマンスや出店など大いに盛り上がっていました。ようやく、平時に戻ったことを実感しました。

6) 市長の交代(8/7、8/8)

8月7日、午後5時45分から森市長の退任式がありました。8年間様々な面で教育に対しても支援いただき、特に全小・中学校に空調設備を整備いただいたことは大きな成果であったと思っています。

翌日には始業前に田村新市長の初登庁式と部長級への訓示式がありました。今後、三田市政の舵取りをお願いするものであり、教育施策についても引き続き充実されるよう、しっかりと協議していきたいと思っています。

7) 兵庫県市町村教育委員会連合会全県夏季教育委員会研修会(8/17、8/18)

8月17日、18日の2日間、兵庫県市町村教育委員会連合会の夏季研修会が北野プラザ六甲荘で開催されました。コロナウイルス感染症防止対策後のリアルな研修会開催となります。17日は、豊岡県立芸術文化観光専門大学学長で演出家の平田オリザさんによる「新しい学力観、新しい学校観」と題した講演と、参加市町の教育長、教育委員との情報交換会、翌18日は、ソーシャルメディア研究会研究員で甲南大学講師の冨田幸子さんによる「スマホ時代の子どもたちのために」と題した講演を聞かせていただきました。

平田さんの講演では、これからの社会を支える子どもたちへの教育が、「主体的、対話的で、愛のある、共感のある学

び」へと変わることで、「主体性・多様性・協働性」は学校でしか学べないことなど興味深いお話でした。

富田さんの講演では、子どもたちの生活の中には、スマホ、SNS、ネットゲームの広がりなど懸念はあるが、現在、そして未来に向けてこれを否定できないということでした。ただ、子どもたちの中で完結してしまう会話のみでのいじめや、加被害の逆転、満たされない生活からゲーム依存症に陥る怖さなど、受け身的な体験より、リアルな形での能動的な活動を体験させることの重要性を感じました。

情報交流会では、約1時間他都市の取組を聞かせていただき、今後の参考となりました。

8) 9月市議会定例会開会(8/24)

昨日、9月市議会定例会が開会しました。今回は、田村新市長の初めての議会であり、市長の所信表明から始まりしました。教育委員会としては補正予算案や議案の提案はございませんので、委員会質疑はございませんが、9月6日から3日間一般質問があり、教育委員会にも質問があると思います。教育委員会として変わりのない考え方を答弁していきたいと思っています。9月20日に閉会の予定となっておりますが、詳細につきましては、次回報告させていただきます。

来週から2学期が始まります。毎年のことですが、40日間の生活のリズムが一変することになります。子どもたち一人一人の心身の状況に気を配るよう、丁寧な対応によるスタートとしていかなければと思っています。

日程第6 議 事

それでは本日の議事に入ります。

(1)教育に関する事務の管理及び執行の状況を点検し、及び評価することについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第13号】

○教育長
(鹿嶽 昌功)

議案第25号「令和5年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について」事務局から説明をお願いいたします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

議案第25号「令和5年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

取組の評価が○だけの箇所には何も書かれていないところが気になります。今回、評価表の様式をわかりやすく変更されたようですが、○だけではなく、評価が○の中にも見えてくる課題について、少しでも書かれる方が良いと思います。評価が◎や△のところはきちんと分析されていますが、○だけということは「できた」という結果が出るだけになってしまいます。その中にある強みや弱みといった点に触れて、消極的な評価ではなく、積極的な評価を期待しています。また、この点検・評価報告書を学校現場へ周知し、今後どのように活用していくのか教えてほしいです。

○教育総務課長
(井上 尚博)

評価が○だけの項目について、来年度に向けて改善していきたいと思います。学校との連携についてですが、今回の点検・評価報告書は校長会で報告をさせていただきます。また、「指導の重点」については、各所管課が点検・評価の結果を踏まえたうえで、学校現場の意見を取り込みながら作成しておりますので、今後も続けていきたいと考えています。

○教育委員
(中野 文雄)

例えば、主な課題にある「一人一人が大切にされる教育の充実」の中に、保護者の3分の1が関係機関の相談・支援を受けていない事実があると書かれています。こういうことこそ、学校と共有すべき課題であり、気づいておくべきことだと思うので、現場との情報共有はぜひお願いします。

○教育委員
(大野 裕己)

今回、様式が簡素化されてより見やすく工夫されているのがわかります。吉田委員長が言われたように、大事なことはP

DCAサイクルだと思います。その中でも、点検・評価をフィードフォワードでこの先のあらたな計画等に繋げていくことが重要であると考えます。取組で評価が○だけの場合も、特筆すべき、今後しうる取組をもう少し積極的に挙げるようにして、三田市の教育行政の取組において何が強みになっているか等も、総合的に示していくことができるのではないかと思います。今後も報告書を工夫されていくのであれば、そういった強みを校長と共有することで、ベクトル合わせが進んでいくのではないかと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

様式については今後も改善が必要だと考えています。それぞれ個々の項目だけになっているので、総括の部分も含め、項目ごとの個の部分と総括がわかるように、ご意見を伺いながら変更していこうと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご質問等ございますか。
なければ、このように議会や学校へも報告し、最終的に市民の皆さんや保護者の皆さんへ公表させていただきます。

(2) 附属機関の委員その他の法令に基づく各種委員を委嘱し、又は任命することについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第14号関係】

○教育長
(鹿嶽 昌功)

議案第26号「三田市学校給食運営協議会委員の委嘱について」事務局から説明をお願いいたします。

○学校給食課長
(廣瀬 敏彦)

議案第26号「三田市学校給食運営協議会委員の委嘱について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように承認します。

(3) 教科用図書の採択を行うことについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第15号関係】

○教育長

議案第27号「令和6年度使用三田市立特別支援学校高等部

- (鹿嶽 昌功) 教科用図書の採択について」事務局から説明をお願いいたします。
- 教育研修所長
(小山 恵介) 議案第27号「令和6年度使用三田市立特別支援学校高等部教科用図書の採択について」事務局から説明
- 三田市立特別支援学校高等部教科用図書選定委員会委員長
(山口 貴久) 「令和6年度使用三田市立特別支援学校高等部教科用図書の採択について」三田市立特別支援学校高等部教科用図書選定委員会の経過等を資料により概要説明
- 「令和6年度使用三田市立特別支援学校高等部教科用図書の採択に関する申請書」【学校教育法附則第9条の規定による教科書】について、内容説明
- 教育長
(鹿嶽 昌功) 何かご質問、ご意見等ございますか。
- 教育委員
(中上 之仁) 他に調査研究を行った図書はありますか。
- 三田市立特別支援学校高等部教科用図書選定委員会委員長
(山口 貴久) 今回は他に、4冊の本について調査研究を行いました。2種類のシリーズ本や、昆虫や動物を題材にした仕掛け絵本がありました。その中から、「いちにちシリーズ」と「おくのおくシリーズ」、「いっきょくいきまあす」と「もっちゃうもっちゃうもうもっちゃう」を選定しました。選定しなかったのは「だんまりこおろぎ」「いちにちおぼけ」「おんなじだあれ?」「ちゅーちゅー」の4冊です。いずれも昆虫や動物などを題材にしていますが、来年度在籍予定の生徒には内容が難しいことや興味関心の点から、今回は選定しておりません。
- 教育長
(鹿嶽 昌功) 他にご質問等ございますか。
- 教育委員
(大野 裕己) 今回、新規の一般図書で2種類のシリーズ本が選ばれています。それぞれのシリーズの中で、選んだ図書と選ばなかった

○三田市立特別支援学校高等部教科用図書選定委員会委員長
(山口 貴久)

図書の違いは何ですか。

今回、新たに追加した一般図書は、それぞれのシリーズの中で、特に内容について学習する必要性が高いと考えたものです。また、テーマについて内容がわかりやすく示されている図書を選びました。シリーズ本を活用することで、発達段階に応じて、テーマに沿った系統的な学習を進めることができます。今後、さらにシリーズ本の調査研究を進めることで、一般図書を充実させていくことができるのではないかと考えています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご質問等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

特別支援学校では自立活動がとても大事な教育活動です。今回採択された本についても、目や耳の感覚刺激を重視された教科書を選んでいただいていると感じました。話の落差がある展開は子どもたちがとても喜びますので、そういった反応を示す意思表示ができる点もよく考えて選んでいただいたと思います。日常生活の自立の中で冷蔵庫は身近なものであり、挿絵も丁寧できれいな絵なので子どもたちにとっても分かりやすいと思います。「もっちゃんもっちゃんもうもっちゃん」では、日常生活における排泄を学べる本として活用できるとは思いますが、選定の視点として排泄指導を考えて選ばれたのか、繰り返しのフレーズが面白いユーモアな点で選ばれたのか教えてください。

○三田市立特別支援学校高等部教科用図書選定委員会委員長
(山口 貴久)

「もっちゃんもっちゃんもうもっちゃん」は、展開が楽しめる本ではありますが、子どもたちの中には排泄指導を行っている子もいますので、ユーモアのある絵本を通して排泄指導にも繋がれば良いと思って選んでいます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見ご質問等ございますか。

○教育委員

自立するということは、依存先を増やすことだと言われてい

(三木 尚美)

ますが、今後は、共生社会をめざし、障害の医学モデルではなく、社会モデルの考え方が必要になると思います。先生方には、今回選ばれた教科書を通して、子どもたちの興味を引き出していただきたいです。年齢的に高等部は社会に一番近くなるので、卒業して社会に出るうえで、支援を得ながら自分の夢を持ち、その夢を実現できるよう教科書を通してご指導いただきたいと思います。

○三田市立特別支援学校高等部教科用図書選定委員会委員長

(山口 貴久)

先生とのコミュニケーションや、人との関係を多く学ぶ中で、支援を上手に使いながら生活を豊かにしていくことが必要だと思います。特に高等部では、教科書をとおして重点的に指導していきたいと思います。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

他にご質問等ございますか。

ないようでしたら令和4年度末の351冊に新規16冊を足して、そこから削除8冊分を差し引いた、合計359冊を採択するという事よろしいですか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長

(鹿嶽 昌功)

それではこのように採択させていただきます。

(4)三田市教育委員会事務処理規程第13条に関する教育委員会の決定について

【三田市教育委員会事務処理規程第13条関係】

○教育長

(鹿嶽 昌功)

議案第28号「三田市立図書館のシステム更新にかかる休館及び特別整理期間について」事務局から説明をお願いいたします。

○文化スポーツ課長(下山 一彦)

議案第28号「三田市立図書館のシステム更新にかかる休館及び特別整理期間について」事務局から説明

○教育長

何かご質問等ございますか。

(鹿嶽 昌功)

なければこのように承認します。

日程第 7 報 告 事 項

○教育長

(鹿嶽 昌功)

続きまして報告事項に移ります。

報告第 2 3 号「丹波少年自然の家事務組合の解散及び解散に伴う財産処分、組合の規約変更に関する議案提出の報告について」事務局から説明をお願いします。

○健やか育成課長

(神影 保緒)

報告第 2 3 号「丹波少年自然の家事務組合の解散及び解散に伴う財産処分、組合の規約変更に関する議案提出の報告について」事務局から説明

○教育長

(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。

なければこのようにすすめていきます。

なお、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 2 9 条の規定に基づき市長に意見を申し出て、市議会へ議案提出を依頼しておりますことを併せて報告いたします。

また、「丹波少年自然の家事務組合の解散について」及び「丹波少年自然の家事務組合規約の変更について」の 2 項目に関し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行令第 1 2 条の規定により議会に意見を回答いたします。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

報告第 2 4 号「9 月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長

(井上 尚博)

報告第 2 4 号「9 月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明

○教育長

(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。

なければこのように進めてまいりますので、9 月もよろしくをお願いします。

日程第8 その他の報告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、次回、9月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いいたします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

9月教育委員会定例会の開催日時は令和5年9月27日(水)午後2時00分から、南分館601会議室で予定しております。よろしくお願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、各校長からの報告です。
本日、中学校代表校長の細見校長が欠席のため、代理で鯉ノ内校長より報告をお願いいたします。

○中学校校長代表
代理(鯉ノ内 克枝)

○部活動について
運動部の3年生にとって最後の大会、中体連の総合体育大会三田市大会が6月中旬の陸上競技大会から始まりました。猛暑のため熱中症対策を行う中でしたが、この大会から解禁になった、保護者や部員からの心からの声援を受け、生徒たちはいつも以上に力を発揮し、どの部活動の生徒も全力で試合に臨み、最後まであきらめない姿が見られとても素晴らしい大会となりました。中体連の運動種目においては近畿大会の陸上競技で1年男子が1500mで2位に、3年女子が女子100mで3位という結果でした。全国大会へは2名が出場し、3年女子が水泳競技の800m自由形、同じく3年女子が陸上競技の100mで出場し健闘しました。
また、各校吹奏楽部は、7月末の吹奏楽コンクール西阪神地区大会に出場し、それぞれが素晴らしい演奏を披露してくれました。現在、運動部では新チームが始動し、暑さをものともせず秋の新人大会をめざして努力しています。また、フラワータウンの2校、富士中学校と挟間中学校では合同部活動が始まりました。地域移行を見据えた取組で、休日の部活動を中心に、2校の生徒を部活動指導員が中心となって指導するというもので、夏休みから陸上競技部、剣道部、野球部の3つの部活動で開始しました。

○夏季休業前から夏季休業中の様子
夏休み前には三者懇談会を持ち、夏休みの学習や進路につい

てご家庭と相談し、夏休みの過ごし方についても確認しました。各学校では長い休みを前に、薬物乱用防止などの防犯教室や、情報モラル教室を行うなど生徒が安全に長期の休みを送れるよう支援いたしました。

夏休み中の生徒の様子と対応をお伝えします。学習に困り感を持つ生徒には、それぞれの学校で学習相談会を持ったり、部活動の中で学習時間を設けるなど支援を続けています。

また、夏休み明けに登校をためらうことが心配される生徒には、学級担任などが連絡を取り、適宜家庭訪問をするなど様子を注視し、安心して2学期が迎えられるよう丁寧に対応しています。

3年生は、進路実現のために学習に励み、自分に適した学校選択のため、多くの学校のオープンスクールに参加しています。また、2学期が始まるとすぐに迎える体育大会のため、夏休み中も3年生のリーダー達は学校で準備を重ねてきました。

教職員は部活動指導や学習相談、学習学力状況調査の分析など様々なことに励みながら、市内各教科部会での研修会や、各学校で行われる様々な研修会(学習指導・生徒指導・教育相談・人権教育・救急救命法・ICT活用など)で研鑽に努めました。忙しい日々が続きます2学期を万全の体制で迎えられよう準備しています。

○9月の学校行事

9月には、各校で体育大会や運動部の三田市新人大会が予定されています。しばらく残暑が続くという予報もあり台風なども心配されますが、熱中症対策などを含め引き続き様々な感染症への対策に努めるなど安全面に十分配慮して、丁寧に準備を整え実施していきたいと思えます。2学期もどうぞよろしく願いいたします。

○小学校校長代表 (福本 八重歌)

○2学期スタートに向けて

連日「熱中症警戒アラート」が発表されるなど「猛暑」が続いた夏休みが終わろうとしています。以前は、夏の暑さの中でも安心して楽しむことができていた運動や活動が、命の危険までも伴うようなものとなり、気候変動の脅威を感じずにはいられません。1学期の終わりにも、運動場や体育館での授業、休み時間の外遊びなどをあきらめなければならない日がしばしばありました。通常の授業にも影響を与える暑さ

は、学校教育においても大きな課題となっていることを実感しています。

29日より2学期が始まります。新型コロナウイルスの感染症法上の扱いが第5類となり 行動制限も無い中で、さまざまな夏の思い出を抱えて、登校してきてくれることと思います。始業式の日のにぎやかな教室の様子が目に浮かぶようです。

○夏季休業期間について

夏季休業期間中の各校では、人権教育や特別支援教育、生徒指導や研究推進、学力向上等、学校運営の核となるさまざまな内容について校内研修会を実施しました。また、教育研修所で開催された「授業づくり講座」や「iPad活用講座」などにおいても、多くの教員が学ばせていただきました。管理職においても、小中一貫教育に関するさらなる理解を深めるために、小学校教頭会は8月7日に加東市の東条学園へ、小学校長会は8月17日に神戸市の港島学園への視察研修を実施しました。

夏休み期間中には、一部学校でのLED化の工事や法面の除草、さまざまな点検等を行っていただきました。また、本校のプレハブ校舎も完成しました。明るくなった校舎、新しい校舎に子どもたちも喜ぶことと思います。子どもたちの学びの環境整備に努めていただいておりますことに感謝申し上げます。

○学校行事について

2学期からの行事につきましては、9月に自然学校や修学旅行、校外学習を予定している学校が多くあります。また、5校が9月下旬と10月に運動会を実施します。自然学校は、1学期に続き、多くの学校が始めての場所で、久しぶりの4泊5日の実施です。

新型コロナウイルスの感染状況については、少々不安な面もありますが、子どもたちの心に残る修学旅行、自然学校にできるよう各校で工夫を凝らしながら実施していきたいと思います。また、まだまだ厳しい暑さが続きますので、熱中症対策に最大限の配慮を行ってまいります。秋には、音楽会、研究発表会などの行事が控えています。教育委員のみなさまにも、ぜひ子どもたちや教員のがんばっている姿を参観いただけましたら嬉しく思います。

2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは以上をもちまして教育委員会定例会を閉会いたします。